

## 『 既存住宅状況調査に係わる業務費の目安 』

平成 30 年 4 月 1 日

(一社) 長野県建築士事務所協会

\*本業務費算出根拠は、平成 29 年 12 月 29 日付

(公社) 日本建築士連合会 (一社) 日本建築士事務所連合会による「業務量の目安」に基づく

建物種別	戸建住宅 (延床 150㎡以下)	戸建住宅 (延床 150～200㎡)	共同住宅 (長屋含む) 住戸型 (100㎡以下)
構造	W・S・RC	W・S・RC	W・S・RC
業務費	¥54,000	¥72,000 以降 50㎡増加毎に ¥15,000 ずつ加算	¥45,000 以降 50㎡増加毎に ¥12,000 ずつ加算

**条件:** 当該既存住宅の平面図等の図面があり変更されていない

: 下記の業務は含まれていない

- ・ 調査用の平面図等の図面起こし
- ・ 床下や小屋裏に侵入しての調査
- ・ コンクリート圧縮強度調査、鉄筋探査
- ・ オプション業務
- ・ 依頼主以外に対する調査報告書の説明

### 運用にあたっての留意事項

上記金額は、あくまでも目安として運用し基本的には現地確認の上、見積を提出する依頼者が「既存住宅かし保険」希望の場合は、保険法人の登録検査事業者が実施するので注意  
オプション業務の内、耐震診断業務(Wee2012 一般診断法 1)については¥64,000 を基本とする  
調査報告書の期限が切れた場合の再調査依頼についての対応は、各自の判断で対応